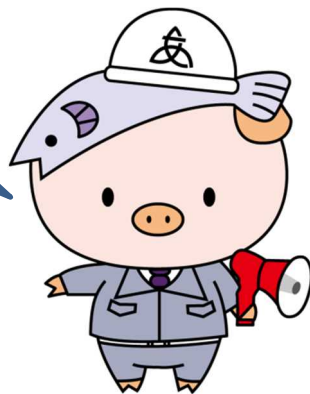


厚木排水区下水道浸水被害軽減総合計画



浸水対策の工事が
完成しました！

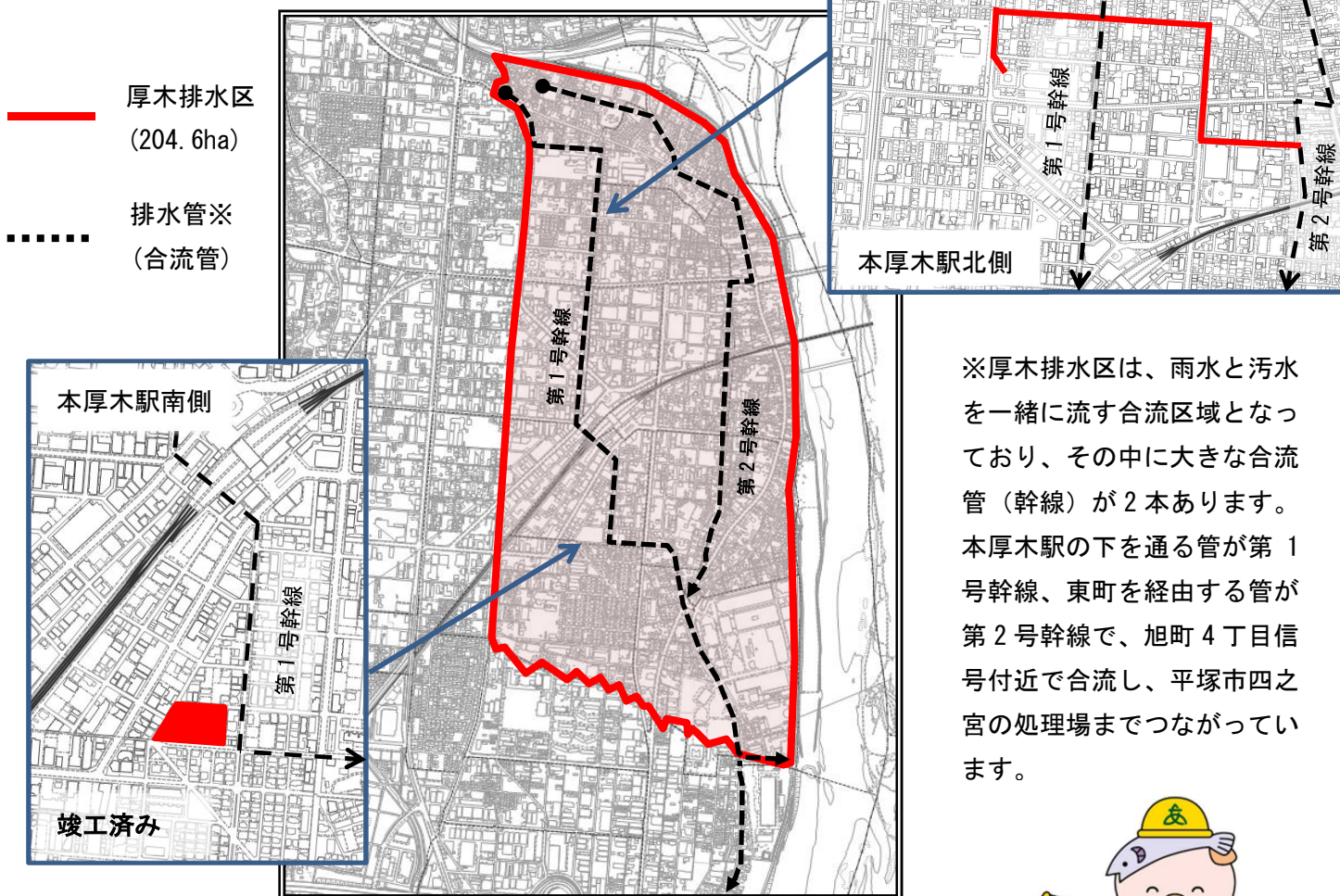


厚木市

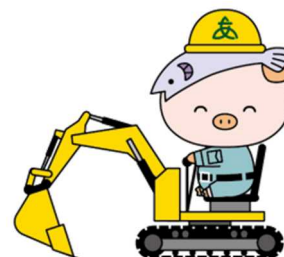


シールドマシン全体写真

厚木排水区全体図



※厚木排水区は、雨水と汚水を一緒に流す合流区域となっており、その中に大きな合流管（幹線）が2本あります。本厚木駅の下を通る管が第1号幹線、東町を経由する管が第2号幹線で、旭町4丁目信号付近で合流し、平塚市四之宮の処理場までつながっています。



事業の概要（厚木排水区）

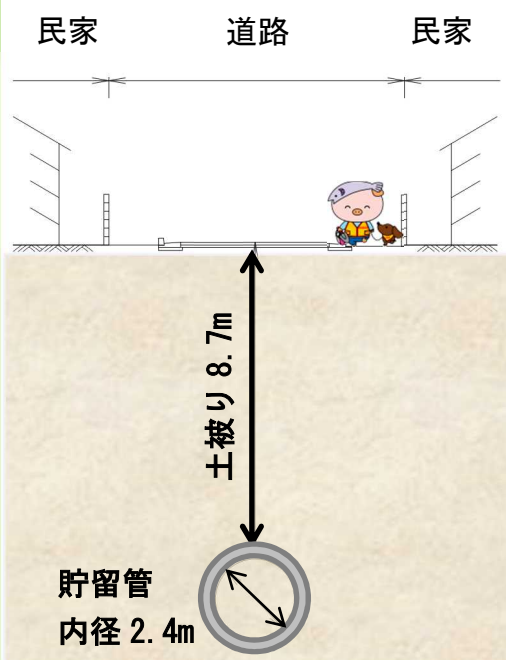
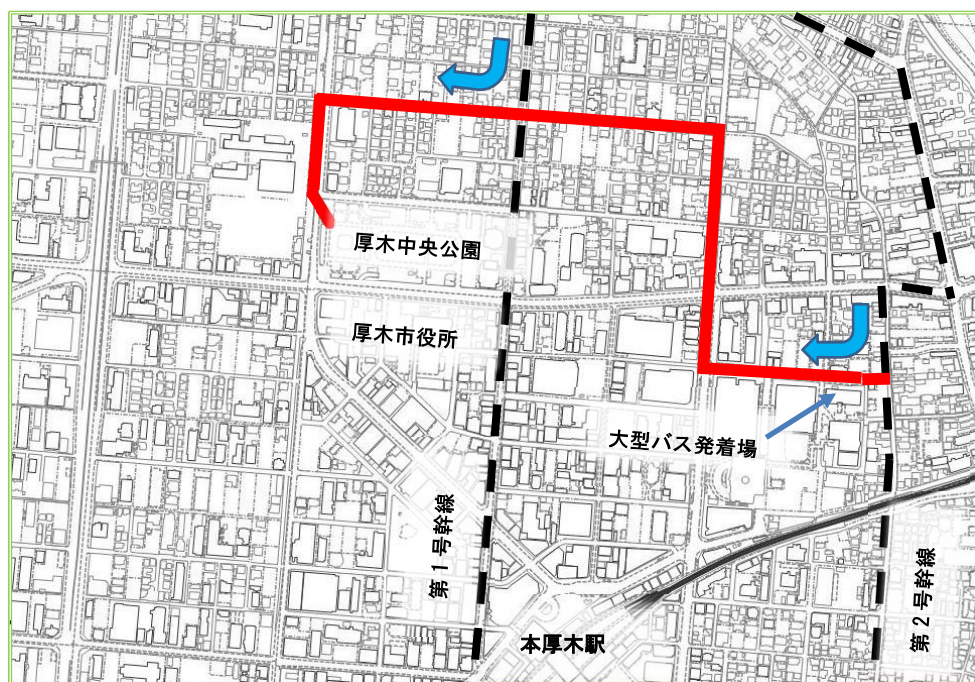
○背景 近年、局地的集中豪雨や都市化に伴う雨水流出量の増加により浸水被害が発生し、厚木市では平成25年度の大雨（既往最大降雨：時間あたり65mm）で、本厚木駅周辺を中心に浸水が発生し、多くの被害がでました。そこで厚木市は、厚木排水区下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、浸水対策工事を進めてきました。

○目的 本厚木駅の南側と北側に雨水の貯留施設を整備することで、浸水被害を軽減することを目的としています。（浸水を無くすことは難しいため、時間あたり65mmの雨が降った場合でも、浸水深さを概ね10cm以内にする計画です）

○場所 本厚木駅北側：厚木中央公園周辺
本厚木駅南側：あさひ公園（厚木市旭町1丁目）

工事の概要（本厚木駅北側）

断面図



○工事名 令和元年度公共下水道厚木排水区雨水貯留管整備工事（継続）

○工期 令和元年12月23日から令和5年3月15日まで（四ヶ年継続事業）
（供用開始 令和5年3月）

○契約金額 ￥2,743,116,200（税込み）（最終）

○受注者 戸田・小島・関野 特別共同企業体

○大きさ 管径 2.4m × 長さ 1,130m
容量 約 5,100m³（小学校プール 約 14 杯分）

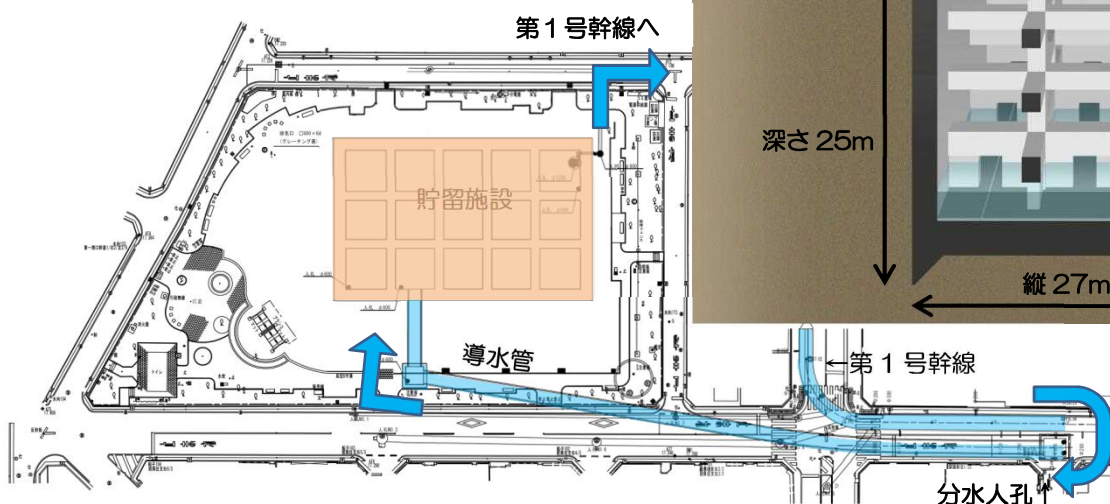
○工法 シールド工法
地下にトンネルを構築する工法で、「シールド」と呼ばれるトンネル掘削機を地中に掘進させ、掘削作業、覆工作業を行い、トンネルを築造していく工法です。

○運用 強い雨が降り、第1号幹線と第2号幹線の水位が高くなると、貯留管と幹線の交差する部分に設置したマンホールを経由して、雨水を取り込みます。

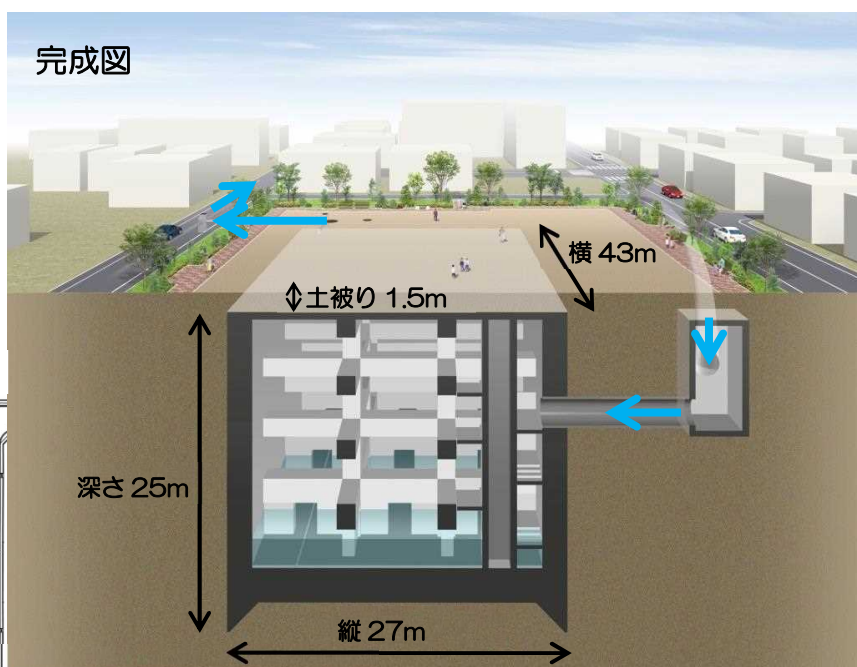
貯留した雨水は、晴れの日、中央公園の北西側に設置したポンプで第1号幹線へ戻していきます。



※下図は、工事前のあさひ公園に
雨水貯留施設を合成した配置図と
なります。



完成図



←第1号幹線の水位が高くなると、分水人孔を経由して貯留施設に流入します。

工事の概要（本厚木駅南側）

○工事名 平成28年度公共下水道厚木排水区雨水貯留施設整備工事（継続）

○工期 平成29年3月22日～令和元年8月30日
（供用開始 令和元年9月）

○契約金額 ¥3,096,282,240（税込み）（最終）

○受注者 竹中土木・孝松・武蔵 特別共同企業体

○大きさ 縦27m×横43m×深さ25m
（厚木市役所本庁舎とほぼ同じ）

容量 約14,800m³
（小学校のプール約40杯に相当）

○工法 ニューマチックケーソン工法

○運用 強い雨が降り、第1号幹線の水位が高くなると、貯留施設の南側に接続している導水管（直径2m）を経由して、雨水を取り込みます。貯留した雨水は、晴れの日、貯留施設の北側に設置したポンプで第1号幹線へ戻していきます。



工事担当課
下水道施設課 046-225-2370（直通）